

《 競 技 注 意 事 項 》

- 1 本大会は、2026年（公財）日本陸上競技連盟規則および以下の競技注意事項により実施する。
- 2 トラック競技におけるレーン順は、プログラム記載の左側番号で示す。
- 3 ウォーミングアップは補助競技場で行うこと。
なお、7:30～8:50の間、練習場として本競技場を開放する。
- 4 招集について
 - (1) 招集所は設置しない。
各組の招集完了時刻（競技開始時刻の10分前）までに各競技のスタート地点付近で、出発係による点呼を受けること。その際、胸ナンバーカードと背ナンバーカード（番号はレーン番号、各自準備）の確認を受け、シール式腰ナンバーカードを受け取り、右腰に安全ピンで留めること。
※上記に遅れた場合は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。
 - (2) あらかじめ出場競技種目を棄権する場合は、棄権届（google form）により申告する。また、突発的な事故等で棄権する場合は、スタート地点付近で出発係に申し出る。
- 5 競技について
 - (1) 規格外シューズの使用は認めない。
※シューズのチェックは行わないが、主催者が必要と認めた場合は、競技役員がシューズの確認を行うことができる。仮にレース後に規定外シューズの使用が認められたときは「失格」となり記録を認めない場合もある。
 - (2) 男女3000mおよび男子5000mでは二段階スタートを実施する。
 - (3) 小学女子800mはオープンスタートとする。
 - (4) 男子800m及び女子800m9レーンの競技者は、8レーンからスタートをする。
ただし、欠場によりレーンに空きがある場合は、空きレーンからスタートする場合もあるので、係員の指示に従うこと。
- 6 その他
 - (1) プログラム記載の個人情報は、取得の際に特定した利用目的の範囲内で、適正に利用する。なお、競技会の映像や写真、記事、個人記録等は主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体に掲載することがある。
 - (2) 主催者において参加者全員が被保険者として、スポーツ保険に加入する。また、主催者側は事故に対する応急処置はするが、その後の責任は負わない。
 - (3) 大会期間中の貴重品の管理は各自行うこと。
 - (4) ごみはすべて持ち帰ること。